

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ひまわりの家
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 4,331人（前年度比 97.2%） ・令和元年度 4,457人（前年度比 103.6%） ・平成30年度 4,301人（前年度比 93.9%） <p>《事業》</p> <p>主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援を行うことで、福祉の増進を図る。</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に支払った費用 68,676千円 (64,016千円) ・その他市が負担した費用 163千円 (2,382千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入 66,701千円 (66,779千円) ・その他収入 73千円 (800千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケートを令和3年2月に市で、同3月に施設運営法人で実施したほか、施設外部の委員を含む施設運営委員会の実施（年2回 ※うち1回は書面開催）、保護者会への参加（年4回 ※前年度から一部中止あり）。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。</p> <p>また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p> <p>他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。</p>	42/42
II 施設の運営管理体制	<p>法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。</p> <p>また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。</p> <p>また、感染症対策で小まめな手洗いや換気をしながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。</p> <p>また、支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会を継続して実施する等、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者等の意見を反映した施設運営に努めている。</p> <p>利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>指定管理施設としての基準を遵守しながら、医療的ケアを必要とする利用者の障害特性の細部までの把握に努め、支援の充実にも努めている。</p> <p>利用者本位の支援に努めつつ、サービスの質の向上を目的とした取り組みも行っている。</p>	8/8

三 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>利用者の意思決定を尊重し、利用者ニーズに応えた支援を行うとともに、コロナ禍の中で、感染予防対策を取りながら事業を推進した。また、介護職員人材育成という課題に重きを置き、OJTを基本に法人内外の研修会やウェブ会議等に参加し、職員の資質向上に取り組んだ。</p> <p>医療的ケア（進行性難病等）を必要とする利用者の重度化が顕著なことから、医療機関等と連携し安全なケアの提供に努めた。また、家族の相談にも積極的に応じ、信頼関係構築に努めた。</p> <p>重点事業のまとめ</p> <p>1 個別支援計画に基づくサービスの提供</p> <p>障害特性に考慮した個別プログラム内容の充実を図り、適宜に個別支援計画等の見直しを行った。地域住民との交流等を積極的に行い、地域に根差した活動を継続した。また、住まいをグループホーム等へと移行した利用者が、安心して通所できるよう、関係団体と連携した支援を行った。</p> <p>2 日中活動の充実</p> <p>個別支援プログラムを基本とした各種活動（創作活動、環境活動、集団体操、課外活動、買物等）を見直し、社会参加できる機会を充実させたことにより、情緒の安定に繋がった。また、医療的ケア利用者に対しては、身体機能の維持・低下予防を目的とした機能訓練の提供を継続した。</p> <p>3 医療的ケアが必要な利用者への支援</p> <p>医療的ケアを必要とする利用者には、医療機関や障害者相談支援事業所と連携しながら、効果的な支援体制について検討するとともに、個別支援計画の見直しを行った。また、今後も増加すると考えられる医療依存度の高い利用者へ対応するため、専門性の高い研修会へ積極的に参加し、職員の支援技術向上に努めた。</p> <p>4 施設運営委員会の開催（年2回）</p> <p>運営委員による日々の支援状況の視察や行事への参加を通じて、幅広くご意見をいただき施設運営に反映させたことにより、保護者との意見交換やアンケートに於いて、大変良いとの回答結果を多く得ることが出来た。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズに応じた支援を行うとともに、医療的ケアを必要とするなどの質の高いサービスに応えられるよう、人材育成に力を入れているほか、看護師等による支援により利用者の個々の状態に合わせたサービス提供が行われている。</p> <p>支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会も継続して実施しているほか、感染症対策に留意しながら地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	<h1>S</h1>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>換気及び日常の消毒作業などにより感染症対策を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う休所（1月7日から1月24日まで）以降については関係機関からの指導も踏まえ、日頃の支援に支障が出ないよう配慮しながら感染症対策を見直すとともに強化し、安全・安心な施設運営に努めている。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課